

# 辰のれんを潜った

## 小林弥太郎どん

柳田 義一

新春早々東京YMCA星野達雄先生から伝記の資料はないかと鈴木会長の許に依頼が舞いこんだ。私の幼少時分からの記憶を静かに辿ると確か明治三十五年頃東京日本橋豪商砂糖屋百足屋商店主小林福太郎さんは一子弥太郎さんを連れて当時内海岸にあった鈴木商店を訪れ砂糖取引で懇意であった柳田富士松と面談、弥太郎を宜敷く頼むとのことで即日入店の運びとはなつた。茲で他の店員と共に寢食を共に商家の見習修業が始つた。きさく明朗そのもの、弥太郎どんは誰れにも気受けはよく鈴木よね刀自には特に眼をかけられた。弥太郎どんの愛称の下に商用多事の中を骨味惜しまず立働かれた。その頃恒にうす茶色の



立て縞銘仙の和服に角帯を締め白足袋姿で身軽に自転車で市井を乗り廻わされていたことが目のどこかに潜んでいる。

その当時鈴木商店に在職の顔振れを見ると柳田富士松、金子直吉、西川文蔵、日向利兵衛、谷治之助、喜多奈良七、窪田駒吉、高橋半助、西岡貞太郎、平瀬忠範、東條順吉、宮城、大野、西岡槌吉、山岡金次、三木仙助、伊藤理作、加木政吉、藤川晋吉、酒井丑松、小川熊吉、西岡勢七、妹尾清助、浅田泉次郎、藤田毅、杉浦亀吉、福永次郎、高垣一郎、小野禎一郎、有光松之助、松原清三、加藤重輔等の方々がおられた。

当時の弥太郎さんには笑えぬ一つのエピソードがあった。鈴木よね刀自実兄西田仲右衛門氏が須磨一の谷保養院で逝去の夜遺骸を多聞通り西田家に運ぶことになり弓張提灯を手に西国街道を東へ徒歩で進みゆく途中疲れられたのであろう眠くなつたはずみに月見山附近の池に落ち込まれ護衛役の周辺を驚かしたことがあった。幸にも怪我もなく濡れ鼠のままに役を果たされたと云う。

### ○鈴木商店と関西学院と小林さん

鈴木商店の黎明時代には学卒の方少くコレスボンデンス関係には暗く恒に柳田富士松の親友である関西学院の創始者である西川玉之助、中村平三郎両先生に委嘱、内外貿易交渉の実務は申す迄もなく創業を始まらんとする大里製糖所、日本樟脳、神戸製鋼所の機械買入れにも目覚ましい活躍を遂げられた。

傍ら鈴木一門の子弟教育には柳田富士松が両先生に総べて方針を相談して決めていった。海外旅行留学の魁は鈴木岩蔵氏で西川玉之助先生が特に同行された。この外西田仲次郎氏(鈴木よね刀自甥)清水初太郎氏(柳田富士松甥)金子家の書生安東珍成氏小野三郎氏等閑学入り勉学に励むことになる。小林弥太郎さんは又特別のはからいで吉岡院長の宅に寄宿通学された。卒業後帰京されたが、鈴木岩蔵氏磯部房信氏を慕い志を立てて米国コロンビア大学に留学の運命を辿られた。おそろくキリス

ト教信仰を中心に心理学等の原理の探究ではなかつたかと思われる。帰京後は近衛師団に入隊されたが大正元年九月明治大帝御大葬の夜計らずも銀座通り警衛の小林弥太郎さんと柳田富士松が再会したことがあった。

去る大正七年五月頃来神、川崎町鈴木商店本店に姿を現わされた。鈴木よね刀自、鈴木岩治郎氏、鈴木岩蔵氏、金子直吉氏、柳田富士松等と久方振りの対談のひと時があった。その時父が私を呼びに来てこの方覚えてるかとお問われましたが一目見て、幼少の頃人一倍可愛がつて頂いた弥太郎さんだと叫んで固い握手を交わしたことがあった。その後大正十年の夏、私が上京の際日本橋に弥太郎さんを訪問した時貴公子然たる口もとから「今あなたは非凡の金子さんに確かりと掴っているがもうぼつぼつ離れるようにしないとあなたの脳味噌は今に金子さんに吸

い取られて仕舞うよ」と警告されたが心理学的に私に諭された気がする。それから私への消息は絶えたが鈴木家との交流は永く続いていて十和田湖畔で岩蔵氏令嬢敦子さんが色々とお世話になつたと申されていた。今回星野先生の御編纂に役立てようと数日考えこんだがこんなことしか浮かんでこない。鈴木家の煙から角度を変え宗教界に著しく活躍された小林弥太郎先生のみたまに謹んで御冥福を祈つて止まない。

決意して人輝かす更衣

義一

五四・五・一二

### 帝人株式会社特約店

## 富士商事株式会社

取締役社長 石本 喜久次  
専務取締役 石本 幸久

大阪市北区絹笠町大江ビル  
電話 大阪06-364-0177(代)

豊かな経験——すぐれた技術



## 帝人製機

大阪本社 大阪市西区江戸堀 1-9-1 ☎06(448)6001  
東京本社 東京都中央区銀座6-14-4 ☎03(543)4611  
営業 化学繊維機械 航空機部品  
品目 油圧機器 工作機械 産業省力機械

非鉄金属・特殊金属  
特殊鋼とその原料

## キンキメタル産業株式会社

取締役社長 堀内 宏 展

本社 大阪市福島区福島5丁目6-31  
TEL 代表 458-5961  
東京営業所 東京都千代田区内神田町1-11-7  
鈴木ビル  
TEL 03-295-7266  
大阪工場 大阪市西淀川区佃4丁目6番22号  
TEL 代表 473-5031  
熊谷工場 埼玉県熊谷市三ヶ屋字女堀5408の1  
TEL 代表 32-6811